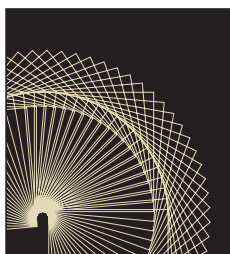




「お客様との信頼関係を何よりも大切に
しています。そして当社だからこそその付
加価値を見出し出していただき、最高のク
オリティで施工を手がけているんです」

対談記事 ▶▶ 030p



株式会社 ITOSOKEN

代表取締役

伊藤 勝彦

愛知県名古屋市を拠点に、全国各地の内装工事を手がける（株）ITOSOKENの伊藤社長。同氏は実家が工務店だった影響から自身も17歳で建設業界に進み、以来23年間経験を積み重ねた匠である。顧客や職人、関わるすべての人との信頼関係を重んじる姿勢が、事業規模拡大の何よりの所以だ。「いかにお客様に気に入っていただけるか、それだけを考えて一つひとつの現場に向き合っています。今後は裾野を広げ、内装工事一式をワンストップで対応できる会社を目指します」と語る同氏は、さらなる飛躍を目指して歩みを進めていく。



株式会社 ITOSOKEN
代表取締役
伊藤 勝彦
工務店を営む父の背中を見て育つ。自然と同じ道に進むことを決意し、17歳から建設業の世界に入る。独立を見据えながら経験を積み重ね、満を持して30歳で独立。2022年に(株)ITOSOKENを設立し、現在は愛知県名古屋市を拠点に横のつながりを深めながら、全国各地の内装工事を請け負っている。

地域に寄り添い人とのつながりを大切に 最高のクオリティで内装工事を提供する

全国各地の内装工事を手がける(株)ITOSOKEN。代表取締役の伊藤氏は幼い頃から現場仕事に引かれ、23年間着実に技術を磨いてきた。「周囲の方への感謝を忘れず頑張りたい」と意気込む同氏の仕事の流儀に、元ボクシング世界王者の村田諒太さんが迫った。

長い下積みを経て満を持して独立

村田 愛知県名古屋市を拠点に内装工事を手がけている(株)ITOSOKENさん。まずは、伊藤社長のこれまでのご経験からお聞かせください。

伊藤 私の実家は工務店を営んでいて、物心つく頃から仕事の現場が身近にありました。それで自然と「職人として働きたい」と思うようになったんです。そして17歳の時に建設業界に入り、当時から独立することを目指して経験を積んできました。

村田 お父様の背中を見て、職人の道を志されたのですね。独立されたのはいつ頃なのでしょう？

伊藤 ちょうど30歳の時です。大体2、

3年で独立する人が多いのですが、私は慎重な性分で完璧な状態になってから独り立ちしたいと思っていました。それで、社内でお客様とのやり取りを学び、現場での経験を積み重ね、1歩ずつ着実に歩みを進めてきたんです。

村田 満を持しての独立だったわけですね。長い期間、下積みをして良かったと思うことはありますか？

伊藤 社会人として、人との信頼関係の築き方を学べたのが良かったと思っています。若くして独立すると、技術は後からでも身につけられますが、社会を知らないまま人と付き合いしていくと、どうしても未熟さが際立ってしまい、お客様に気に入っていただけなかったり、仕事が取れなくなってしまったりすると思うん



です。ですから、会社にお世話になりながらいろいろな経験を重ねてきたことで、今の自分があるのだと思いますね。

顧客に寄り添い高品質な施工を手がける

村田 (株)ITOSOKENさんではどのような工事を請け負っているのですか？

伊藤 当社は、学校や店舗、ビルや工場といった公共施設の内装工事を中心に手がけています。天井や壁などに軽量鉄骨材を使った下地を組んだり、ボード貼りを行ったりと、内装に関わる幅広い施工に対応しているんです。拠点は名古屋市ではありますが、当社のお客様の中に全国に展開している塾があるなど、対応エリアも広がっていているので、それぞれの地域の職人さんとうまく連携して施工を進めています。

村田 全国各地の依頼に対応しているんですね。そのバイタリティが素晴らしいと思います。お仕事の中で、こだわっている部分があれば、ぜひお聞かせください。

伊藤 一番は、最高のクオリティをご提供することです。とにかく、いかにお客様に気に入っていただけるかを大切にしていますね。内装工事会社は全国に数多く存在していますので、その中でも、「ぜひITOSOKENさんにやってほしい」と言っていただけよう信頼関係を大切に築き上げ、当社だからこそその付加価値をご提供したいと考えています。

村田 どんな仕事においても、最後は「この人に任せたいか」という点に尽きますよね。人間関係と技術力、双方を重んじていらっしゃる伊藤社長ですから、リピーターも多いのではないですか？

伊藤 当社はエンドユーザーのお客様は少なく、建設会社や工務店さんが主な取引先になります。最初は「小さい仕事でいいのでやらせてください」と営業にうかがいまして、そこで最大限できる仕事をして評価され、継続的にご依頼をいただいているケースが多いですね。何より、まずは信頼していただくことこそが重要だと思っています。そのうえで施工のクオリティを高め、お客様のニーズに応えられるような施工を心がけているんです。

ワンストップで一貫対応できる会社に

村田 共に働く職人さんと接するうえでは、どのような点を大切にされているのでしょうか？

伊藤 若い職人さんには、失敗して学んでほしいと思っています。図面通りに作るためには、自分で考えて臨機応変に作業することがとても大切で、その中でいろいろな失敗をして経験を積み重ね、それが糧になるはずなんです。そのため私は、基本は教えますが、「自分のやり方があればやってみて。それが間違っていたら次に生かせばいいから」といつも伝えています。そのほうが、主体的に考えて作業できますからね。

村田 まさに教育のあるべき姿だと思いますよ。スポーツの世界も同じで、基本を教えて、あとは自分で失敗して解決策を見つけていかなければ答えは見つからないと思っています。そうした考えを持つ伊藤社長のもとでなら、若手もどんどん成長するでしょうね。

伊藤 ありがとうございます。工期が決まっている中で難しい案件もありますが、その中で無事に完遂できた時は大きな達成感が得られます。チームプレーで取り組むことのやりがいも大きいので、若い職人さんにもその喜びを感じさせてあげたいですね。

村田 それは素晴らしい！最後に、今後の展望について教えてください。

伊藤 今後はクロス工事、床仕上げ工事やライフラインの工事などにチャレンジしていきたいですね。そして、内装工事一式をワンストップでできる体制をつくれたら嬉しいです。そのためにも、今と同様に横のつながりを大切にしつつ、一つひとつの現場に向き合っていきます。

Guest Comment>>

村田 諒太 (元ボクシング世界王者)

「周りから慕われる人間になりたいですし、協力してくれた人に恩返しをしたい」と語っておられた伊藤社長。お話の中で何度も周囲の方々への感謝の言葉を口にされていて、社長の誠実さや優しさが伝わってきました。これからもその義理人情に厚いお人柄でさまざまなご縁をつなぎ、若い世代へと技術を伝えるとともに、事業規模を拡大していきましょう！

